

## 平成29年度行政評価の結果等について

### 1 本市の行政評価の概要

総合計画で掲げた長期的な目標の達成度を、包括的・体系的に評価するため、「政策評価」「施策評価」「事業評価」の3階層で構成

評価の種類	概要
政策評価	総合計画基本計画の政策体系に基づき、基本施策における目指すべき市民生活の状態の達成度を測り、市民満足度の向上を目指すもの (総合計画基本計画の改定に向け総括評価として複数年を対象に実施) [平成28年度実施済]
施策評価	基本施策に連なる各施策について、施策の進捗状況や市民満足度の推移などを踏まえて、施策の課題抽出や今後の方向性を検討するもの
事業評価	各事業について、施策目標を達成するために何が有効であるかという視点から、今後の取組方針を検討するもの

#### [参考] 施策評価の評価方法

- ・ 各施策について、3つの評価指標に基づいて多角的・総合的な評価を実施
- ・ 評価は、点数化による定量的な評価によって客観性を確保

#### 《評価指標の概要》

評価指標	概要
①施策指標の達成度	総合計画基本計画に掲げる施策指標の達成度を評価
②市民満足度の推移	市民意識調査結果において、各施策の満足度について「満足」又は「やや満足」と回答があった割合（市民満足度）の推移を評価
③主要な構成事業の進捗状況	総合計画基本計画のまちづくり戦略プロジェクトや主要事業から、主要な構成事業として選択した事業の進捗状況を評価

#### 《評価点数の考え方》

評価指標	評価の区分 [点数]		
①施策指標の達成度	A 達成度90%超 [33点]	B 達成度70%~90% [25点]	C 達成度70%未満 [15点]
②市民満足度の推移	A 前年度より向上 (+5ポイント超) [33点]	B 前年度同水準 (±5ポイント以内) [25点]	C 前年度より低下 (-5ポイント超) [15点]
③主要な構成事業の進捗状況 (原則5事業を構成事業に設定)	A 計画以上 (2事業以上が「計画以上」 の場合(「計画より遅れ」の 事業がある場合を除く。)) [33点]	B 計画どおり (主に4事業以上が 「計画どおり」の場合) [25点]	C 計画より遅れ (2事業以上が 「計画より遅れ」の場合) [15点]
総合評価	順調 [90点以上]	概ね順調 [65点以上90点未満]	やや遅れている [65点未満]
①②③の組合せ (点数)	AAA (99点) AAB (91点)	ABB (83点) AAC (81点) BBB (75点) ABC (73点) BBC (65点)	ACC (63点) BCC (55点) CCC (45点)

## 2 評価結果の総括

### (1) 施策評価（別紙1参照）

#### 【総合評価について】

- ・ 84施策のうち3つの評価指標の揃う83施策においては、「順調」が6施策（7.2%）、「概ね順調」が77施策（92.8%）となっている。  
 （「No.53 地域特性を活かした産業集積の促進」については、評価時点で評価指標が揃わないため、総合評価は行わず「市民満足度の推移」と「主要な構成事業の進捗状況」の個別指標についてのみ評価を行った。）

#### 【個別の評価指標について】

- ・ 「施策指標の達成度」については、134の指標のうち達成度が100%以上となっているのは54指標であった。引き続き、全ての指標において単年度目標が100%以上となるよう取組を強化する必要がある。
- ・ 「市民満足度の推移」については、84施策中82施策で「前年度より向上」又は「前年度同水準」で推移しているが、さらなる市民満足度の向上に向け、取組の強化を図る必要がある。
- ・ 「主要な構成事業の進捗状況」については、84施策のうち83施策が「計画どおり」の評価であったが、引き続き、着実な取組の推進に向け計画的に事業に取り組む必要がある。

#### 【総合評価の結果概要】

区分	施策数（割合）
順調	6（7.2%）
概ね順調	77（92.8%）
やや遅れ	0（0.0%）
計	83（100.0%）

#### 【主な施策分野の状況】

区分	施策No.	施策分野	①施策指標の達成度	②市民満足度の推移	③主要な構成事業の進捗状況	総合評価
A評価が2つある施策	16	交通安全対策の充実	①交通事故発生件数 目標 1,800 件／実績 1,738 件 達成度 103.6% ②交通事故死者数 目標 13 人／実績 10 人 達成度 130.0%	40.4%⇒ 46.6% 〈+6.2〉	計画どおり	順調 (91点)
			【A】	【A】	【B】	
	17	消費生活の向上	①消費生活講座等の開催数 目標 115 回／実績 108 回 達成度 93.9% ②消費生活講座等の受講者数 目標 4,400 人／実績 4,162 人 達成度 94.6%	34.1%⇒ 43.8% 〈+9.7〉	計画どおり	
			【A】	【A】	【B】	
	84	多文化共生の推進	在住外国人（外国人住民）を支援する民間ボランティア団体の会員数 目標 865 人／実績 954 人 達成度 110.3%	16.1%⇒ 22.4% 〈+6.3〉	計画どおり	
			【A】	【A】	【B】	

## (2) 事業評価（別紙2参照）

- ・ 870事業のうち、各事業の今後の方向性として、「継続」が794事業（91.3%）、「見直し（予定を含む）」が76事業（8.7%）となっている。
- ・ 見直し対象事業については、少子高齢化の進展に伴う高齢期の生活の充実と子育て・子育ての支援、また、「農業王国うつのみや」の実現に向けた事業の拡大・改善が中心となっている。
- ・ 引き続き、改善に取り組みながら、効果的・効率的な事業執行を図っていく必要がある。

### [事業評価の概要]

区 分		事業数（割合）
継 続		794（91.3%）
（予定を含む） 見直し	改 善	19（2.2%）
	拡 大	32（3.7%）
	縮 小	2（0.2%）
	廃止・終了 （統合・再編を含む）	23（2.6%）
	小 計	76（8.7%）
計		870（100.0%）

## 3 日本一施策事業について（別紙3参照）

- ・ 市民が誇りや愛着を持てるような、全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業（日本一施策事業）を創出・推進するため、平成28年度の取組から68事業（新規4，継続64）を選定した。
- ・ 昨年度までに選定した事業のうち、多くの自治体に取組が普及した事業等については、今年度の選定から除外した。
- ・ 本市において独自・先駆的に取り組んでいる「宇都宮ブランド戦略事業の推進」や「『小中一貫教育・地域学校園』の推進」などの事業は、多くの自治体から視察を受け入れるなど、本市の発信力の向上に寄与している。
- ・ 今後とも、本市ならではの特色ある施策・事業を創出・推進し、広くアピールすることによって、本市の魅力を更に向上させ、東京圏からの移住・定住の促進などの取組に活用していく。

[新たに選定した取組]

区 分	取組の考え方	主な取組
トップ クラス	活動量やその成果などが、客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの	<p>◆特殊詐欺対策事業【新規】</p> <p>警察から提供を受けた特殊詐欺被害に関する情報を分析し、被害者の実態や犯行の段階などに応じた被害防止対策事業を構築</p> <p>⇒特殊詐欺に特化し、体系化したプログラムの策定は全国でも先駆的な取組</p> <p>⇒特殊詐欺撃退機器の貸与台数は中核市トップクラス</p>
独自性	宇都宮らしさや獨創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの	<p>◆障がい者への合理的配慮の提供に係る周知啓発動画の作成・放映【新規】</p> <p>障がい種別ごとに全6種類の30秒動画を作成し、市内の動画広告モニター装置において放映</p> <p>⇒障がいのある方が出演し合理的配慮の提供を促す動画の作成は珍しい取組</p>
先駆的	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国の先駆けとなるもの	<p>◆「コールセンター及びインターネットを活用した集団健診の予約受付」の実施【新規】</p> <p>専用ダイヤルによるコールセンターとインターネットによる「集団予約システム」を組み合わせた集団健診の予約受付を実施</p> <p>⇒コールセンターとインターネットを組み合わせた受付は先駆的な取組</p> <p>◆げんきにごはん事業【新規】</p> <p>新たに小学校、中学校に進学した児童、生徒とその保護者に対し、宇都宮産のお米セットと啓発パンフレットを配付</p> <p>⇒小中学校1年生の家庭を対象としたものは県内初で、全国でも珍しい取組</p>

#### 4 評価結果等の活用

平成29年度は「第5次宇都宮市総合計画」の最終年次であることから、計画の目標達成に向け、各施策・事業に着実に取り組むとともに、各施策の進捗状況や課題の分析から導かれた方向性を踏まえ、総合計画実施計画の策定や予算編成、行政改革の推進、補助金等の見直し等に活用していく。